

事業所名

NPO法人みどりの庭 放課後等デイサービス クローバー

支援プログラム

作成日

R8

年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		・運動活動を通して、楽しく体を動かすことができるよう、努めます。 ・友達との関わりの中で、コミュニケーション能力を育む。 ・社会に出て、生活するための必要な能力を育む。					
支援方針		1. 事業所の指導員等は、児童が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるようその児童の身体及び精神の状況並びにそのおかれている環境に応じて、適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。 2. 事業所の指導員等は、利用する児童の意志および人格を尊重し、常に利用する児童の立場に立ってサービスの提供を行う。 3. 事業の実施に当たっては、地域との結びつきを重視し、関係市町村、他の児童福祉サービス事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。					
営業時間		9 時	0 分	17 時	15 分	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・健康状態の維持や改善、基本的生活習慣の習得、生活リズムの形成の支援方法を考えます。 ・必要に応じて、楽しい食事への配慮、支援（咀嚼、嚥下、姿勢保持等）をしていきます。 ・本人の発達段階と生活環境を把握し、繰り返しの支援での本人ができる形での定着を図ります。					
	運動・感覚	・サッカーなどの運動活動に日ごろから取り組み、体の運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、様々な体の感覚・感触に触れ、運動機能の向上や感覚の成長を目指すして支援します。 ・色々な運動活動を取り入れ、出来たことを認め、自信をつけて体を動かすことを楽しむことができる。 ・運動活動で体力づくりをするとともに、気持ちの発散もすることができ、心身共にバランスを整えることができる。					
	認知・行動	・遊びや活動の中で、ルールを理解して参加できるように、簡単なルールのある活動を取り入れて支援していきます。 ・全体にルールを説明した上で、必要に応じて個別でも支援していきます。その際に、個々の理解できる範囲、理解の方法を把握し、個別に生活の中で本人の困難さが軽減されるようにします。視覚的にも配慮し、実際にやって見せたりして、理解をしやすいしていきます。 ・見通しを持って活動できるように、事前に声掛けを行うなどの配慮を行っていきます。					
	言語 コミュニケーション	・日常生活や遊びの中で、コミュニケーション能力を育むことができるように、支援していきます。 ・言葉を話すこと・書くことにつながる楽しみながらできる活動も取り入れて支援を考えていきます。 ・本人の気持ちを受け止め、相手に自分の気持ちや要求を伝えることができるように支援し、その経験を積み重ねて本人の自信に繋げていきます。					
	人間関係 社会性	・集団活動や、友達との関わりを通して、子ども達が実践的に学ぶことのできる環境を整えて、より良い人間関係や社会性を身に付けることができるように支援していきます。 ・事業所だけでなく、色々な場所の公園や公共施設に出かけたり、地域を散歩したりして、地域の方々への挨拶や、外出時のマナーなどを身に付けることのできる活動を取り入れて支援していきます。 ・行事ごとで、同じ目標に向かって頑張る経験を通して、協調性や自主性を育てることができるように支援してい					
家族支援		・活動内容やお子様の様子を伝え、保護者の方が安心して預けることができるように、情報共有をしていきます。 ・ご家庭での困り事や悩み事等の相談援助も行っていきます。			移行支援	・ライフステージの変化に合わせて、それぞれの移行先にスムーズに移行し、慣れることができるように支援していきます。 ・各関係機関と連携を取り合い、それぞれの場所で充実した楽しい生活が送れるように支援を考えていきます。	
地域支援・地域連携		・子ども食堂やスポーツ大会などのイベントを定期的を開催し、地域の人との交流の場を作っていきます。 ・地域の中で安心して過ごすことができるように、本人に必要な関係機関と連携を図っていきます。			職員の質の向上	・事業所内で研修を行い、職員の質の向上を目指していきます。 ・日ごろから、活動内容や関わりについて話し、改善を行いながら支援をしていきます。 ・モニタリングやケース会議に参加し、情報共有をして	

主な行事等	運動会・社会体験（お買い物体験やデイキャンプなど）・季節ごとの行事（夏まつり・水あそびなど）・合唱祭・子どもレストランやカフェ
-------	---